

第 2 次丹波市環境基本計画の見直しにかかる基本目標と施策の方向性（案）

現行計画（第 2 次計画）の 基本目標と施策の方向性	見直し計画（第 2 次計画）の 基本目標と施策の方向性（案）	見直し要素（計画に関わる国等の動向含む）	計画改訂の視点
【将来像】 丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまち 基本目標 1 “里地里山”の保全・再生と循環利用 自然環境 ○里地里山の保全・再生 ○里地里山を活かした循環型社会の実現 ○有害鳥獣や外来生物の防除 ○自然環境の保全・育成につながる人づくり 基本目標 2 資源を大切にするライフスタイルの定着 資源環境・地球環境 ○5 Rの推進 ○地球温暖化対策の推進 基本目標 3 快適で安心して暮らせる環境の保全 生活環境・快適環境 ○公害の未然防止と拡大抑制 ○河川環境の保全 ○景観保全の推進 ○自然環境等を活かした地域間交流の推進、移住・定住の促進 基本目標 4 人の輪で育む環境づくり ○市民の自主的な取組の推進 ○環境学習の推進 ○市の率先した取組の推進	【将来像】 丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまち 基本目標 1 “里地里山”の保全・再生と循環利用 自然環境 ○里地里山の保全・再生 ○里地里山を活かした循環型社会の実現 新○生物多様性の保全（仮） ○有害鳥獣や外来生物の防除 ○自然環境の保全・育成につながる人づくり 基本目標 2 資源を大切にするライフスタイルの定着 資源環境 ○5 Rの推進 新○ごみの減量化（仮） 基本目標 3 地球温暖化の防止【地球温暖化対策】 地球環境 新○脱炭素社会への移行（仮） 新○新・省エネルギーの活用（仮） 新○気候変動に備える（仮） 基本目標 4 快適で安心して暮らせる環境の保全 生活環境・地域環境 ○公害の未然防止と拡大抑制 ○河川環境の保全 ○景観保全の推進 ○自然環境等を活かした地域間交流の推進、移住・定住の促進 基本目標 5 人の輪で育む環境づくり ○市民の自主的な取組の推進 ○環境学習の推進 ○市の率先した取組の推進 【共通する視点】地域循環共生圏の活用 ○持続可能な地域づくり	●SDGs（持続可能な開発目標）の推進 ○平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された 2030 年を期限とする先進国を含む国際社会全体の開発目標で、持続可能な世界を実現するための 17 の目標と 169 のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。 ○SDGs には、「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「12：つくる責任 つかう責任」、「13：気候変動に具体的な対策を」、「14：海の豊かさを守ろう」、「15：陸の豊かさを守ろう」、「17：パートナーシップで目標を達成しよう」など、環境分野に直接かかわるものが多く含まれ、地方自治体においても目標達成に貢献する取組の推進が求められている。  ●地域循環共生圏*の活用 ※地域循環共生圏：各地域が地域資源を再認識し、それを持続可能な形で最大限活用するとともに、近隣地域と資源を補完し合いながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す地域づくりの考え方。 ○国の「第 5 次環境基本計画」において、国際な潮流や複雑化する環境・経済・社会の課題を踏まえ、複数の課題の統合的な解決という SDGs の考え方も活用した「地域循環共生圏」が提唱された。 ○農山漁村も都市も活かす、我が国の地域の活力を最大限に発揮する構想であり、その創造により SDGs や Society5.0 の実現にもつながるもの ●脱炭素化と地球温暖化対策の推進 ○令和 2 年 10 月、第 42 回地球温暖化対策推進本部において、国は、2050 年には国内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを宣言された。（令和 3 年 4 月には、2030 年度の温室効果ガス削減目標を 2013 年度比で 46%削減すると発表） ○県においても、令和 3 年度改定予定の「兵庫県地球温暖化対策推進計画」の中で、“長期的なあるべき将来像”として「2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ」の方向性を示し、その実現に向けて審議を進めている。	■温室効果ガスの排出削減と気候変動による影響への対策の重要性の高まり ■地球温暖化対策、気候変動による影響への適応、資源循環に関する新たな法制度や計画・方針等（「地球温暖化対策計画」、「気候変動計画」、「第四次循環型社会形成推進基本計画」など）との整合性 ■海洋プラスチックごみ問題（マイクロプラスチックによる海洋生態系への影響の懸念）、食品ロス問題（食べられるのに捨てられている食べ物）に対する意識の高まり ■ICT（情報通信技術）の急速な発達による、ライフスタイルの変化を促す様々な技術革新や経済・社会システムの変化（「Society5.0」の実現を目指す国の動き） ■新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした、市民の暮らし方・働き方の変化
【総合計画 後期基本計画より】 ≪将来像≫人と人、人と自然の創造的交流都市 ～みんなでつなぐ丹（まごころ）の里～ ○まちづくりの目標 4「美しい自然と環境を大切にする源流のまち」 ・【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう ・【低炭素社会】地球環境にやさしい社会と暮らしを育てよう ・【ごみ処理】ごみの分別を徹底し、環境に配慮した循環型社会を形成しよう		【市の動向・方針】 ○氷上回廊が育んだ生物多様性の推進 ○「丹波市地域新エネルギービジョン」（平成 22 年 2 月）策定から 10 年が経過し、国の動向を踏まえた見直しの必要性 ○国・県の動向を踏まえ、<u>丹波市に合った</u>、脱炭素化に向けた地球温暖化対策の取組の必要性 ○地域資源を活用した「<u>丹波市ならではのグリーン成長</u>」の推進 ○「<u>市民ぐるみ</u>」によるまちづくりの推進	